

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	緊急時対応マニュアルを具体的な内容にて作成しているが、咄嗟に起こり得る事に対して、判断を誤ってしまったり、迷いが生じてしまったりと、職員の中での判断力のばらつきがある。勉強会などを開催しているが、頭では分かっているが、いざという時に体が動かず、焦ってしまう現状が見受けられる。	緊急時(急変・災害など)に気持ちに余裕が持て、冷静な判断が咄嗟に出来るようになり、何事にも早期対応に繋がっていくようになる。また職員同士で協力、助け合いながらの連携が図れるようになる。	定期的な勉強会だけでなく、実際にどのように動くのかなどシミュレーションを交えた訓練などを行う機会を開催していき、体で覚えて頂くような取り組みを行っていく。また緊急時に指示を出す側(管理者・看護師など)は、的確な言葉で伝えていけるような伝達訓練も同時に行い、双方が冷静に判断できるような形を実現していく。	6ヶ月
2	43	昼夜共に、トイレでの排泄、ポータブルトイレの設置などを行い、排泄対応を行っているが、利用者様一人ひとりの排泄パターンを把握しながらの対応を心掛けているが、リハビリパンツ、パッド内での排泄も目立ってしまっており、利用者様の不快感にも繋がってしまっているように感じる。	利用者様全員の排泄パターンを観察し直し、一人ひとりの利用者様に合ったトイレ案内、ポータブルトイレの設置の必要性を再度整え、失禁の回数削減に繋げ、同時に紙パンツの脱却を目標にする。	利用者様一人ひとりの排泄パターンをデータ取りするなど具体的にどのような状況に失禁が目立つのかなどを把握し、トイレ案内の対応方法を検討していく。(水分摂取量・活動量など、様々な観点から失禁に影響を及ぼしている事を見極めていく。)	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。